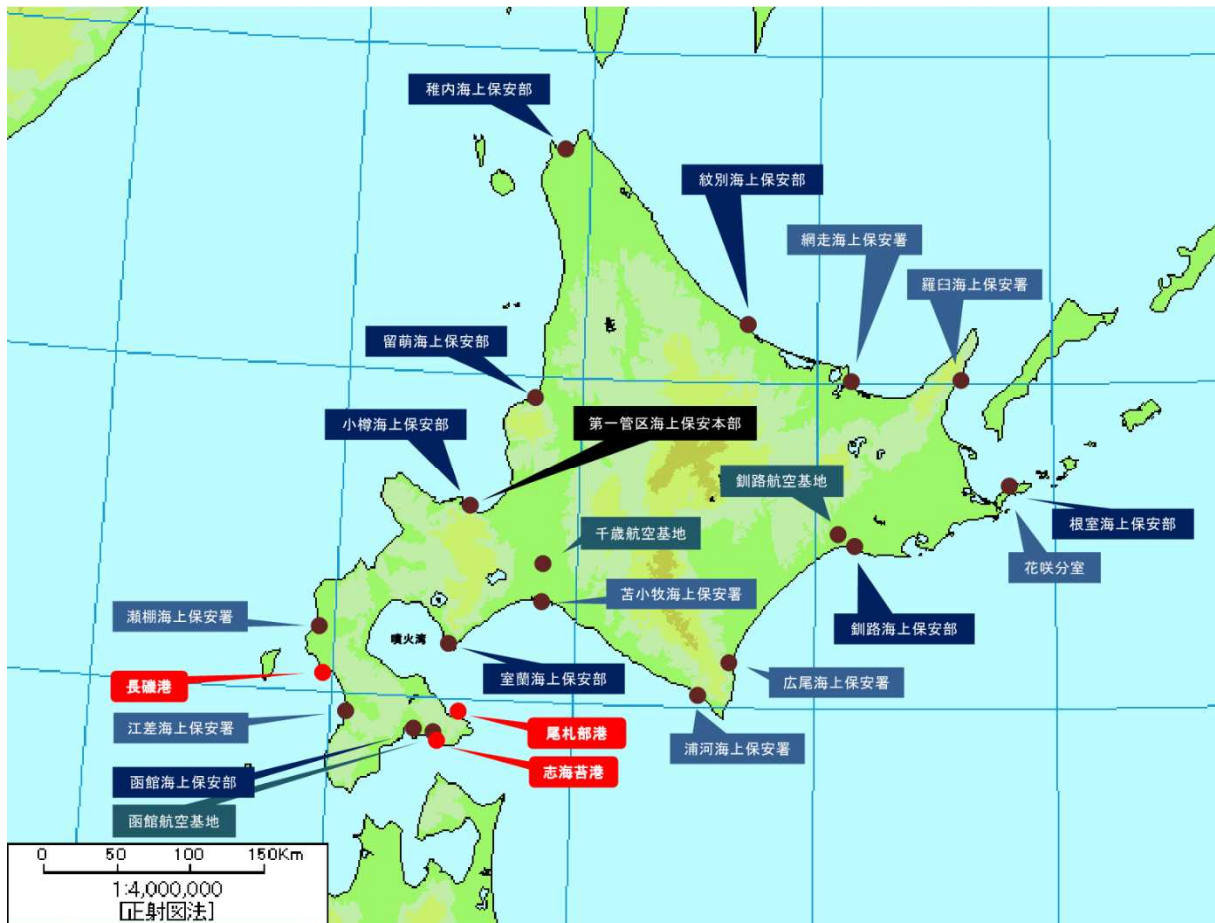


灯火監視協力者に対し海上保安庁長官感謝状を伝達
～灯台記念日にあわせ表彰～

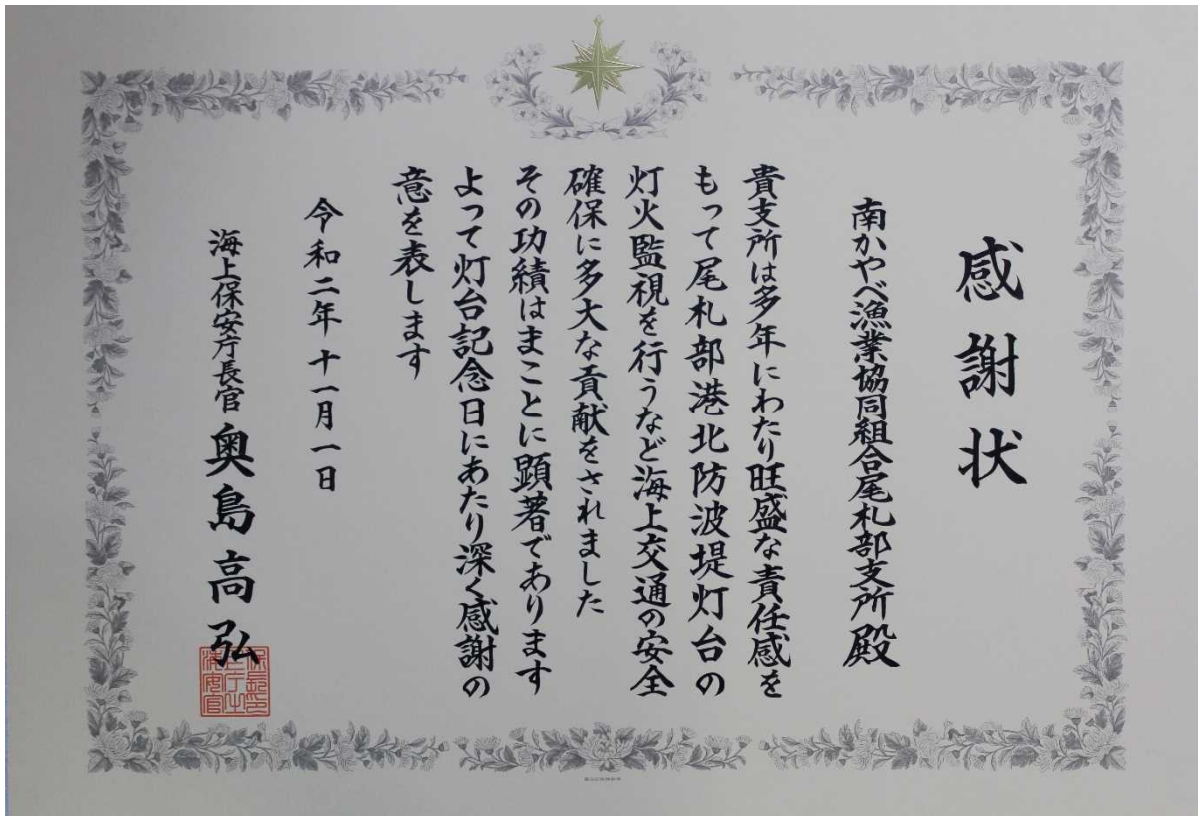
令和2年（2020年）11月、函館海上保安部では、11月1日の灯台記念日にあわせ、多年にわたり灯台等航路標識の灯火監視に協力をいただいている「航行援助業務協力者」に対し表彰を行いました。

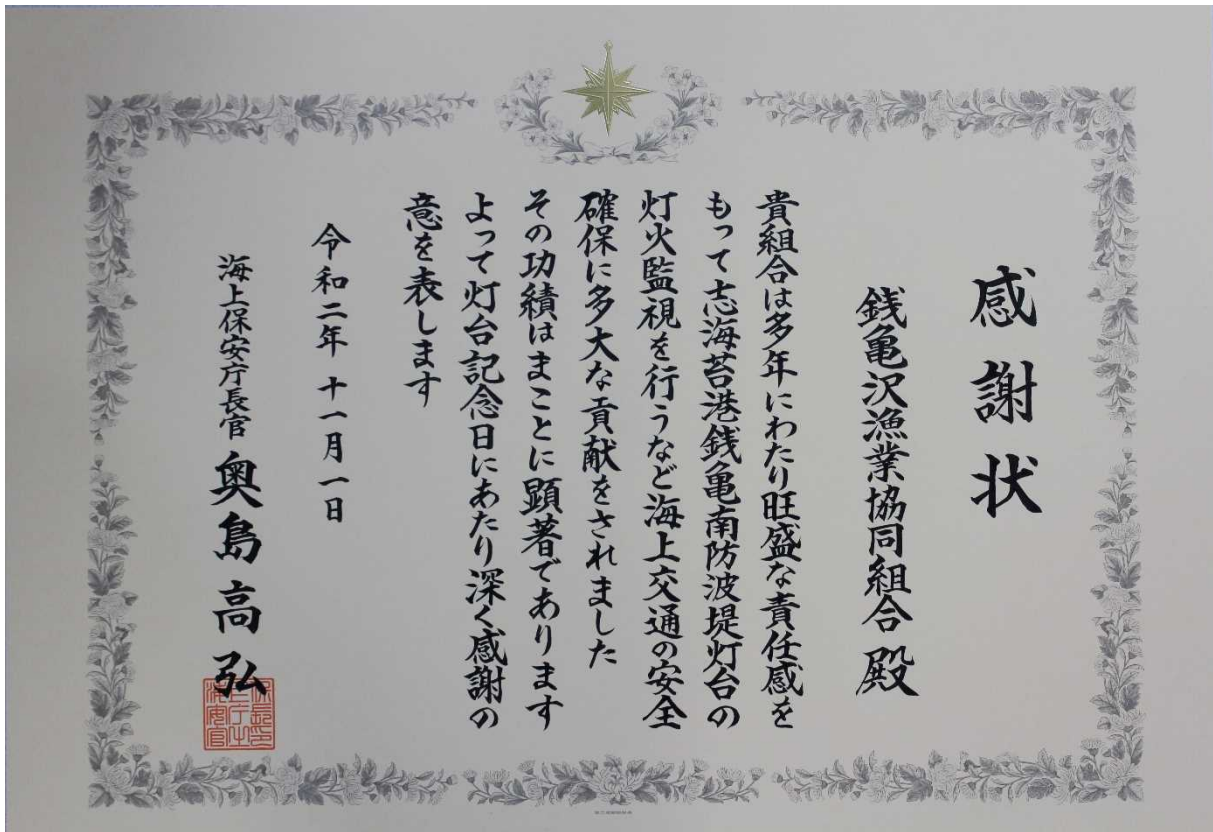
対象となる航路標識は、函館市尾札部（おさつべ）港、志海苔（しのり）港、久遠（くどう）郡せたな町長磯（ながいそ）港にある防波堤灯台であり、それぞれ南かやべ漁業協同組合尾札部支所、銭亀沢（ぜにかめざわ）漁業協同組合、ひやま漁業協同組合大成支所貝取潤（かいとりま）出張所に対し、海上保安庁長官からの感謝状を伝達しました。



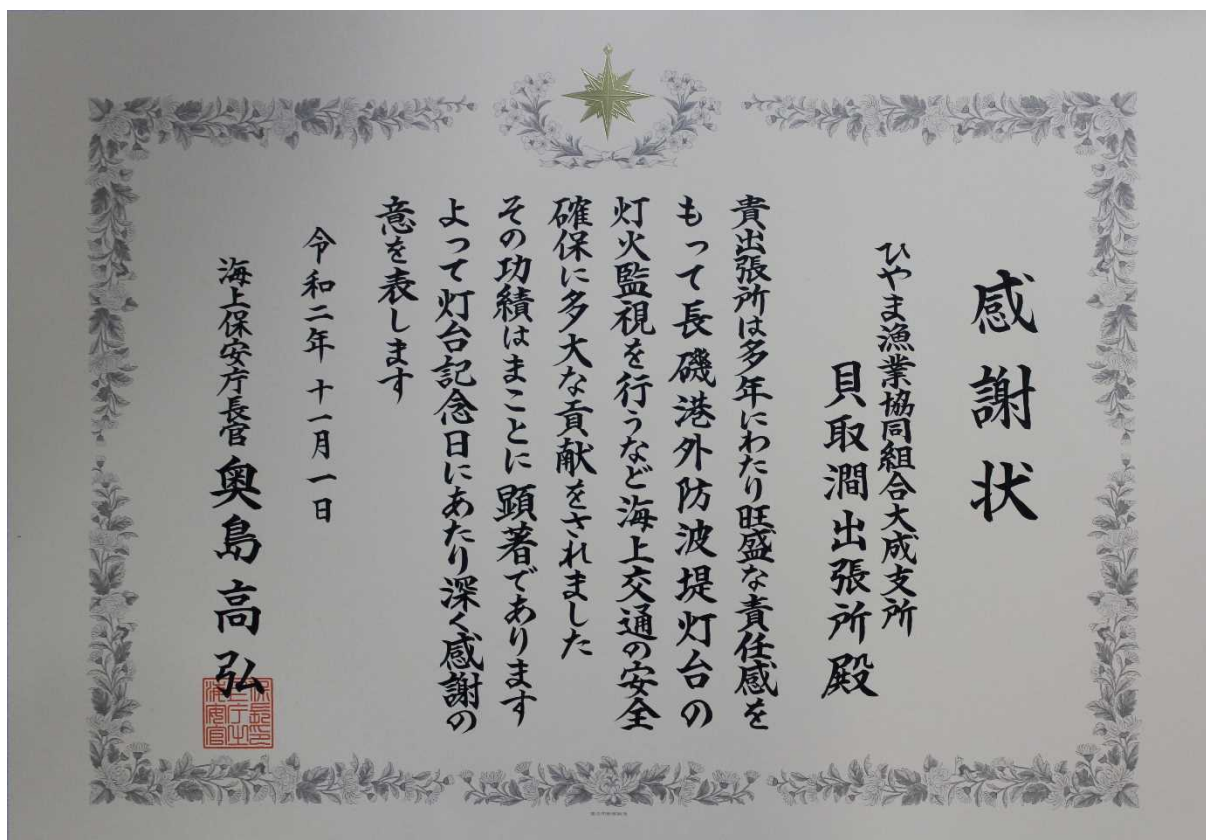


前列右から2番目が南かやべ漁業協同組合（尾札部支所 総務・指導課 野呂優治主任）、3番目が銭亀沢漁業協同組合（千葉正人専務理事）（11月2日、函館市海岸町 函館海上保安部）





左から2番目がひやま漁業協同組合大成支所貝取調出張所（三木洋 大成支所長兼貝取調出張所長）、3番目がひやま漁業協同組合 成田直彦理事（11月10日、北海道久遠郡せたな町、ひやま漁業協同組合大成支所）



今から 152 年前の明治元年（1868 年）、我が国最初の洋式灯台である観音埼（かんのんさき）灯台が 11 月 1 日、東京湾の入口西側に位置する神奈川県横須賀市において起工され、海上保安庁ではこの日を灯台記念日と定めています。全国各地ではこの日にあわせて今回のような表彰や記念式典、また灯台のある場所では記念イベントが開催され、11 月 3 日（文化の日）に行った恵山（えさん）岬灯台の一般公開はこの一つです。

函館海上保安部管内である渡島（おしま）総合振興局・檜山（ひやま）振興局内には、灯台など合計 100 基の航路標識があり、これらの灯火監視を近隣の漁業協同組合等に依頼し、組織としては今回の 3 つの漁業協同組合を含む 37 団体、個人としては 1 名の方に協力をいただいています。噴火湾から太平洋、津軽海峡、そして日本海までの長い海岸線に沿って所在する航路標識の灯火を見守っていただきながら、函館海上保安部では、365 日灯を絶やさないよう、道南の海の安全を護ってまいります。